



「外国人の人権を尊重しよう」  
播磨中学校 3年 オット アイコ バンデ

私は偶然テレビで見ていたニュースでその時ちようど外国人の人権を中心としたニュースが放送されていて気になり見てみました。

一つ目の人権問題では、労働についてです。賃金が安いなど就労の形態や条件などだけで差別されていることを知った時すごく外国人への差別が激しいなと思いました。

二つ目の人権問題では地域生活についてです。地域生活での人権問題は主に日本語が話せないということだけで医療機関への受診を断られたり、マンションやアパートの入居や公衆浴場での浴場の使用が断られるという2つがありました。私は不思議に思いました。

どうして日本語という言語を話すことができないだけで追い出して受診を断るのか、私はとても嫌になりました。

私にはまだ社会という世界が分からないけど外国人が来た時に対応ができるように外国語を話せる方を雇ったらいいいと思いました。そうすれば外国人が来て受診を断らなくても良いと思つたし、外国の方が安心して受診できるようになると思いました。

三つ目の人権問題は、教育についてです。学校で外国人だから、皆と違って日本語を話せないというだけでいじめを受けてしまう子もいるということです。

私も何度か小さい頃にただ周りの子達に違う国籍で外国人というだけで無視されたり陰でゴソゴソと言ったり、廊下でよく「外国人、外国人」と

言われたりしたことがありました。過去に経験したことがあるからただ外国人ということだけでいじめられてしまうことの辛さは分かります。他人と違う国籍で同じ人間なのに少し違うところがあるだけでいじめや辛い思いをしてしまう。私も皆と違う国で生まれて外国人だからいじめを受けている外国人がいる、いじめじゃなくて辛い思いをしている子がたくさんいる、そういうことを少しでも考えるとき心が痛くなり、諦められているような気持ちになってしまいます。同じ人間で、生まれた場所が違う、話す言語が違う、それだけでしたい事も止められて、差別されて、いじめられて、辛い思いをして、毎日がしんどくても必死に一日一日を過ごしている人がいることを知ってほしいとその時思いました。外国人というのは少し抵抗があるかもしれませんが、でも差別せずにとだけ広い心で歓迎できるかが私はすごく大事だと思います。

外国人について私が今後心がけたいなと思うことは三つあります。

一つ目は、広い心で歓迎するということ。

二つ目は、外国人に対する誤解や偏見に基づく油断をなくし私達お互いに尊重しあう意識を少しでも高めるとのこと。

三つ目は、外国人の国や文化や習慣、宗教を私達が理解し、外国人が持つ価値観や生活習慣などの多様性を認めてあげること。

今後更に国際化が進み、日本にいる外国人居住者が増加すると思いま

「母の手」  
播磨中学校 2年 杉本 香弥乃

母の手はいつもカサカサ  
ハンドクリームをぬっても治らない  
なぜなの？ どうしてなの？

それはね、洗濯物をしているから  
それはね、お風呂掃除をしているから  
それはね、ご飯を作ってくれているから  
それはね、洗濯物を干してくれているから

それはね、全部私たちのためだよ  
毎日私たちのために頑張ってくれている

家のことで精いっぱい  
自分の時間がなかなかできない

私も手伝いたいな  
手伝えばいいじゃない

母の手がカサカサなのは  
みんなのためなんだよ



「かわいい おはな みつけた！」  
はまの つきひ (播磨幼稚園 4歳児)

# 地域の「声」をまちづくりに 行政懇談会

町長・幹部職員が地域に出向き、町の将来像である「まちがいきいききらめくはりま」の実現に向けて、まちづくりに関するご意見、ご要望などを直接住民からお聞きし、今後の町政に反映させることを目的に開催するものです。  
※行政懇談会でいただいた意見の一部を、抜粋して掲載しています。



## テーマ「令和元年度予算について」



### 鹿の川自治会

9月28日  
午前10時～11時45分  
開催  
鹿の川公民館  
参加者19人

行政 — 町長より令和元年度予算内容（主要事業など）について説明 —  
自治会 防犯カメラを公園などの公共施設に設置する計画はないか。また、補助金の増額の予定は  
行政 野添北公園などの大きな公園には防犯カメラを設置している。補助金の増額

は、申請状況や実績などをみて今後検討したい

自治会 福祉避難所の設置は。また、避難行動要支援者の個別計画は各自治会で策定するのか  
行政 指定避難所として小学校などの施設を指定しており、その避難者の中に配慮が必要な方がいれば福祉会館やコミセンなどに福祉避難所を開設する。個別計画に関しては、モデル事業として石ヶ池自治会が実施している。各自治会で要支援者名簿を取得し、対象者を確認していただきたい

自治会 運転免許証を自主返納する高齢者が増えてきたが、町では高齢者の移動手段についてはどう考えているか。また自主返納した高齢者向けにどのような補助制度があり、今後どのような対策を検討しているか  
行政 運転免許証を自主返納されると、希望者に運転経歴証明書が交付されるが、町ではその交付手数料を補助する制度がある。移動手段については、コミュニティ

バスの実現が困難であり、現在はその他の方法も含めて幅広く検討している  
自治会 播磨町がどのような町かと問われた時、自信を持って答えられるものがあるれば教えてもらいたい  
行政 他市町では人口が減少しているところも多い中、微増微減を繰り返しており、住宅地も増え都市化が進んでいる。子育て支援や教育にも力を入れており、また、これまで大きな災害に見舞われていないことも一つのアピールポイントである

自治会 播磨町は災害が少なく、多くの住民は比較的安全なところに住んでいるという日常意識があるので、日頃から防災に対する意識を高めておかなければならないのでは  
行政 災害から身を守るためには「自助・共助・公助」が大切である。東日本大震災の教訓から住宅の耐震化も重要だと認識している。本町では耐震に関する様々な制度があるのでうまく活

用してほしい。また、防災に関する「播磨わくわく講座」も実施している  
自治会 蓮池幼稚園の前にグリーンベルトが設置されているが、どのように利用するのが正しいのか  
行政 通常、歩行者は右側通行だがグリーンベルトがあればその上を通っていただきたい



▼問合せ 企画グループ  
079 (435) 0356